

縦覧及び意見募集実施結果について

- 1 縦覧期間 平成28年2月1日(月)～10日(水) 土・日曜を除く。
午前8時30分～午後5時15分
- 2 縦覧場所 環境課及び支所
- 3 意見募集期間 平成28年2月1日(月)～10日(水)
- 4 意見募集方法等
 - ・ 広報せと2月1日号、市HPにて広報
 - ・ 郵便、FAX、Eメール、環境課及び支所窓口にて受付
- 5 意見提出人数 4人(FAX 2人、Eメール 2人)
- 6 合計意見件数 8件
- 7 意見への対応

(1) 意見を踏まえて、案の修正を検討するもの	0件
(2) 今後の事業実施の参考とするもの	3件(No.3・4・8)
(3) 意見の趣旨や内容について、盛り込み済みであるもの	4件(No.1・2・5・7)
(4) その他(応援メッセージ等)	1件(No.6)
- 8 意見及び市の考え

	[基]：該当する基本方針
	[リ]：該当するリーディングプロジェクト

No.	意見	[基]	[リ]	市の考え
1	以前に、水道水源の近隣に産業廃棄物処理場の建設計画が持ち上がったことがありました。水道水源の保護に関する枠組みができていないことが気になります。	1	3	中間評価書(案)P24・P25に表記のとおり、新条例制定に向けた水道水源流域図の確定作業(H26年度)を実施するなど、安全で安心な水道水の供給を確保する取り組みをすすめております。
2	「瀬戸市自然環境の保護及び保全に関する条例」が平成24年10月に制定されたとお伺いしておりますが、どのような地域が条例の対象区域になるか等の詳細がよくわかりません。もし、地域が設定されていないとすると時間がかかりすぎているのではないのでしょうか。	1	1	中間評価書(案)P18・P19に表記のとおり、自然環境の保護及び保全区域の設定に向けた取り組みについては、スケジュールに従い順調に進行していると評価しております。 また、「瀬戸市特定地区自然環境調査委員会」はH28年度に設置を予定しております。

No.	意見	[基]	[リ]	市の考え
	<p>地域が設定されているとしても、市のホームページから調べることができません。</p> <p>また、同条例で設置されることになっている「瀬戸市特定地区自然環境調査委員会」の詳細についてもホームページから見ることができません。</p> <p>せっかく瀬戸市の独自の条例を作ったのですから、そのようなことについても中間報告に載せてみてはどうでしょうか。</p>			
3	<p>豊田市では農地バンクという制度があって、遊休農地を市が借りたい人にあっせんする仕組みができています。瀬戸市にもそういう仕組みがあってもいいと思います。</p>	2	3	<p>今後検討をすすめる上で参考とさせていただきます。</p>
4	<p>市民農園は応募の倍率が2倍を超えていると聞きました。遊休農地を積極的に市民農園にしてはどうでしょうか。</p>	2	3	<p>農業従事者の農地集約等農業生産の観点も勘案しながら、市民農園等遊休農地の利活用を考えてまいります。</p>
5	<p>18Pの保護、保全地区の設定において、候補地の設定が目標年度に達成できていないので、できるだけ早く設定し達成していただきたいです。</p>	1	1	<p>中間評価書(案)P18 に表記のとおり、今年度中に候補地を設定する予定で現在作業等をすすめております。</p>
6	<p>せと・まるっと環境クラブ等、市民と行政が協働し市内の自然環境の保全が進めば、動植物にとっても人にとっても住みやすい環境になると思いますので、これからも未永く継続して行ってほしいです。</p>	6	2	<p>協働による広範囲な体制づくりをすすめながら、取り組みを継続してまいりますので、ご支援をお願いいたします。</p>
7	<p>現在プラスチックはペットボトルだけが資源として回収されていますが、他のプラスチックは回収されていません。しかし、包装等はほとんどがプラスチックです。</p> <p>プラスチックを資源ゴミとして回収</p>	5	5	<p>一般廃棄物の適正な処理を定めた行政計画である「瀬戸市一般廃棄物処理基本計画(H26年度～H35年度)」に、資源回収品目拡充に向けた検討施策として、「容器包</p>

No.	意見	[基]	[リ]	市の考え
	<p>している大阪府交野市で生活した時、生ゴミ以外はほとんどがプラスチックなのに驚きました。</p> <p>プラスチックは放置されると細くなり、今日海水には5兆個のマイクロプラスチックが混在しており、魚を通して人間の体内に入り悪影響を与えるとされており。ペットボトルも簡単に捨てられています。</p> <p>プラスチックの再生利用をする為、資源としての回収を計画に入れて下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゴミの減量につながります。 2. 脱温暖化につながります。 3. 資源の再生利用につながります。 			<p>装プラスチックの資源化に向けた検討」を掲げています。</p>
8	<p>瀬戸市にとって産廃問題が大きな問題だと思っています。</p> <p>現在、赤津にて、大規模な土砂採取の計画があると聞いておりますが、瀬戸市自然環境の保護及び保全に関する条例があるのですから、馬ヶ城の水源でもあり、早く条例の地区に指定できないでしょうか。</p>	1	1	<p>計画に則り自然環境の重要性等を勘案しながら、保護及び保全区域の設定に取り組んでまいります。</p>